



第1812回 例会

2011-12年度RI会長:カルヤン・パネルジー
 第2640地区ガバナー:大澤 徳平
 創立:昭和49年5月15日
 会長:上原俊宏
 幹事:佐田一三
 会報:榎本真弓



VOL.38 No.16

2011年11月 2日(水)

事務所:田辺市下屋敷町81 - 10
 きのくに信用金庫田辺支店3F
 Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008
 E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp
 例会:毎週水曜日 12:30 ~

司会者

上原 俊宏 会長

唱歌

"手に手つないで"

谷中 順次郎 君



出席報告

会員数	義務免除	欠席者数	本日出席率
49名	3名	9名	80.43%
10月19日修正出席率78.72%			

ゲスト

自衛隊和歌山地方協力本部長
 1等陸佐 三上 繁 様
 自衛隊和歌山地方協力本部 田辺地域事務所長
 陸曹長 川口 輝樹 様

会長報告の前に・・・

五行では、季節を5つに分けます。土気である中央の周囲を四季が巡ります。春夏秋冬であり、東南西北です。それぞれに色の配当が有り、東は青、南は紅。西は白で北は黒です。つまり、春が青春ならば秋は白となります。秋の白を雅号にした詩人に北原白秋がいます。落葉帰根にちなみ、彼の「落葉松」から。

からまつの林をすぎて、からまつをしみじみと見き。からまつはさびしかりけり。たびゆくはさびしかりけり。からまつ出でて、からまつ林にいりぬ。からまつ林に入りて、また細く道はつづけり。からまつ林の奥も、わが通る道はありけり。霧雨のかかる道なり。山風のかよふ道なり。

ニコニコ箱

(敬称略)

先日、山下会員の激励会に多数のご参加有難うございました。 小倉
 先日は激励会、ありがとうございました。山下
 先週は郡上八幡(岐阜県)に行ってきました。
 平日というのに観光客ですごくにぎわってました。 木村
 住友生命様お世話になりました。 畑地
 宇都さん先日のゴルフ有難うございました。
 岡本
 今般、取締役社長に任命されました。益々社業に
 励みます。 谷本
 結婚記念日を迎えました。何年目かは忘れま
 したが「愛」はまだあります。 谷中
 自衛隊和歌山地方協力本部長をお迎えて。
 藍畑 愛須 橋本 平野 片井 小山 楠本
 丸山(博) 佐田 坂本 内芝 上原 山本
 吉本
 結婚記念日
 後藤 岡本 谷峯 谷本 谷中 玉置 浦地
 本人誕生日
 小山 佐田 竹村 上原 宇都
 奥様誕生日
 宇都 渡口 山本
 お花頂きます。 吉田

会長報告

* 本日のゲストは自衛隊和歌山地方協力本部長 1等陸佐 三上繁(みかみ しげる)様と、自衛隊和歌山地方協力本部 田辺地域事務所長 陸曹長 川口輝樹(かわぐち てるき)様です。後ほど、宜しくお願い致します。

* 先週の例会後、上原会長と、佐田幹事、中嶋副会長の三名と、岡本君にカメラマンをお願いし、和歌山県(西牟婁振興局)に台風災害義援金として、50万円を持参しました。地域振興部の福田良輔部長が対応されました。10月29日付の紀伊民報にも掲載して頂きました。

幹事報告

回覧
 ・週報「新宮RC」

・R財団「9月度までの寄付一覧表

連絡

・ロータリーの友11月号、届いています。各自トレーに入れてあります。

・次週の例会は移動例会となっています。時間、場所の確認、お願い致します。

18時～ 東急ハーヴェスト 会費3,000円となります。

委員会報告

社会奉仕委員会

委員長 愛須 勝章君



平成23年度麻薬・覚せい剤防止運動の実施における街頭キャンペーンについて

日時 平成23年11月19日(土) 16:00～17:00

場所 オーシティ田辺店周辺

TSUTAYAWAYオーシティ前田辺店周辺

内容 麻薬・覚せい剤乱用防止に係る啓発(啓発物品の配布)、募金活動等

集合場所 オーシティ田辺店宝くじ売り場前

ゴルフ同好会

幹事 武田 静也君

はまゆうロータリークラブ20周年記念コンペへの参加要請が届いています。日時は11月20日です。

多数の参加お願い致します。

ゴルフ同好会忘年ゴルフコンペ・忘年会を開催致します。

日時12月18日(日)

懇親会・忘年会は同日6時30分より若松で行います。

ゴルフ同好会会員以外の方の多数の参加をお待ちしております。会費は¥8000円(予定)

本日のプログラム

自衛隊における日本国防衛実態及び災害対策について
(中国の脅威にどう立ち向かうか?)



自衛隊和歌山
地方協力本部本部長
1等陸佐 三上 繁 様

本日は、3月11日発生した東日本大震災における自衛隊の対応を主にお話させていただきます。本震災

による東北3県を主体とした被災状況は改めて説明するまでもなく極めて甚大なものであり、自衛隊は全力で対応し、約2万人の人を救助するとともに、9千体を超えるご遺体を収容しました。また、給食・入浴支援等各種生活支援を実施してきました。

本震災における自衛隊の対応の特性は『自衛隊史上最大の作戦』(図1)として以下のものがあります。

○地震・津波災害と原子力災害への2正面作戦(原子力正面は今なお継続中)

○過去最大規模の約10万人の自衛官を動員(延派遣人員1,000万超)

○災害派遣初の統合任務部隊(JTF)の編成

東北方面総監(陸将)が陸・海・空各自衛隊災害派遣部隊を一元的に指揮

○大規模な日米協同作戦(米軍:約1.8万人)

“OPERATION TOMODACHI”の遂行

○創隊以来初の即応予備自衛官等の招集

即応予備自衛官等(主に退職自衛官から採用)雇用企業の理解・協力のもと招集

○全国規模の物流

陸上輸送、海上輸送、航空輸送各自衛隊の機能を活かし全国規模の物流を確保

今回の災害派遣に関しては、被災地域の皆様をはじめ多くの国民から高い評価を頂いていますが、反省し教訓とすべきことも多く確認されています。この教訓等を踏まえ自治体・関係機関等とも情報を共有しつつ、東南海・南海地震に備えていくこととなります。

次に我が国の安全保障について少し説明したいと思います。

周辺の安全保障環境は、右図2が示すとおり中国軍とりわけ海軍の近代化を背景にした我が国周辺海域での活動活発化に代表されるように非常に厳しさを増しているのが現状です。こうした環境の中、昨年12月に平成23年度以降に係る防衛計画の大綱が策定されました。

その特色としてはいくつかありますが、主なものとして「動的防衛力の整備」「南西地域の防衛態勢強化」があります。動的防衛力とは、起こりうる各種事態(離島等での不法行動、大規模災害、テロ等)に対して即応し的確に対処して国家・国民の負託に応える防衛力との概念です。また、南西地域はレーダサイトを除き沖縄本島にのみ部隊が存在しているというある意味防衛態勢上の空白を生じさせているのが現状です。

この地域の強化が周辺環境の動向を踏まえ喫緊の課題です。一方で財政上の制約も大きく(主要国のなかでは日本のみ防衛関係費を縮減)、また東日本大震災の影響もあることから憂慮していますが、今後も自衛隊の訓練等防衛力の整備に関しご理解をお願いします。

最後に当地本は自衛官の募集(現在は陸上自衛隊高等工科学校生徒を募集中)、退職自衛官の再就職支援等を任務としています。ご協力よろしくをお願いします。